

# 山行報告書

日時	2015年9月5日(土)・6日(日)		天候	5日(晴)・6日(雨/晴)
山名	県連登山学校 中級コース 第五回講習 そごう谷(沢)			
CL	木下講師	参加者	高田 (1)名	
(コース)	<p>5日7:00ミーティング(諸注意説明・共同装備振り分け・軽量化パッキング)於国見トンネル五ヶ瀬広場P=入渓地 9:10遡行開始・・・16:00ビバーク地点着</p> <p>6日5:00起床 6:40ビバーク地発・・・8:00扇山頂上・・・13:00入渓地P=13:30国見トンネル五ヶ瀬広場P ミーティング 14:00解散</p>			
(コメント)	<p>今回は一泊での沢の講習でした。内容は大きく分けて①沢登り②ビバーク技術③読図の3点でした。</p> <p>①沢登りについては、前回の課題である前後の人と間隔を開け過ぎずチームがまとまって行動すること、周囲を常に見守り危険箇所では前後の人を適格な方法で確保すること、その2点を注意することでしたが、各自かなり意識されていたと思われ 概ね行動が出来ていたと思います。ただあまり危険を回避しすぎて安全なところで確保に時間が掛かったり高巻きをして、スピーディーに通過した方が安全である場合や沢本来の楽しみが損なわれることもあるので経験を積み重ねて身に付けていきたいと思いました。</p> <p>②ビバークについては今回ブルーシートでのタープの張り方、薪集め、水汲み、たき火、飯盒炊爨、そして翌日の撤収を体験しましたが、班ごとに分担したため自分の班以外の作業が学びきれない部分がありました。また 講師陣から自分の班の作業が終わったらまだ作業が残っている班を手伝うことをしない人が見られた点、夜間 暴風雨になり雨漏りや支柱が倒れてタープを立て直したり、たき火を見守りする点で講師陣に任せっきりになったことに注意を受けました。</p> <p>③2日目は班ごとに分かれて地図読みをしながらの下山でしたが、受講生の感想でほぼ全員が読図の難しさを述べておりました。自分も実際の距離と地図上の距離を把握することや周囲の地形と地図を照合することがまだまだ出来ていない部分があり読図も普段の山行での経験を積み重ねが大切だと思いました。</p>			
費用概算	<p>(交通費/人) 3,300円</p> <p>(その他/人) 共同装備購入費(食費・ブルーシート)1,300円</p>			

(2015.04.09改訂)